

新型コロナウイルス感染拡大予防 大分県テニス協会における感染対策について

「新型コロナウイルス感染拡大予防 JTA 公式テニストーナメント開催ガイドライン」より一部抜粋（下記）

改訂にあたって（2023年4月20日）

2020年に新型コロナウイルス感染症が、かつて無い広がりを見せてから3年が経過しました。ワクチンの普及と感染対策の徹底により、新規感染者の発生数は0ではないものの爆発的な拡大は抑えられ、日常生活やスポーツ活動も従来の水準に戻りつつあります。

政府はこの状況をふまえ、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の改訂を随時進めています。

2023年1月27日には「今後のイベント開催制限の見直し」がはかられ、緊急事態措置、重点措置区域以外においては、収容率に制限を設けないこととなりました。2023年2月10日には、「新型コロナウイルス感染症」を2023年5月8日以降、5類感染症に位置づける方針が示されると共に、「マスクの着用」の考え方についても、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねることを基本とする形に変更されました。また、3月13日業種別ガイドライン見直しのためのポイント（第7版4月3日）が示され、3月31日には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の基本的な感染対策の考え方及び業種別ガイドラインの廃止に際しての留意事項が示されています。感染対策としては引き続き①3密の回避、人と人との距離の確保、②手洗いなどの手指衛生、換気、③マスクの着用（個人の主体的な判断による）が求められますが、感染対策上の必要性に加え、経済的・社会的合理性や、持続可能性への考慮が示されており、入場時に利用者の連絡先把握等は不要とするなどの合理化案が示されています。

その一方で、政府からは5類感染症への位置付け変更後であっても、新たな変異株が出現するなど科学的な前提が異なる状況になれば、直ちに必要な対応が講じる可能性が示されています。

上記の状況をふまえ、JTA公式テニストーナメント開催ガイドラインの改廃は行わず、変異株や新興・再興感染症等の出現に備えつつ、感染対策の合理化をはかるものとします。依然として毎日の新規感染者数は一定数見られることからレベル1ととらえ、必要な感染対策は引き続き求めるものとします。なお、今回の改訂は、5月8日の位置づけ変更を前提とするものです。変異株や再興感染による制限の必要性が発生した場合には、直ちに運用緩和を停止することとします。

○ 基本的感染予防策の合理化として、ガイドラインの下記の内容について運用を緩和します。

- a) 全来場者に対する大会前後の健康状態などの情報提出の一時停止
- b) 有症状者の厳格な入場管理廃止、来場辞退の呼びかけへ変更
- c) 公認大会のHeaLo使用義務化の停止
- d) 無症状濃厚接触者など、無症状者の来場・行動制限の廃止
- e) マスク着用を義務せず、状況に応じた着用を推奨する。

上記等、政府や JTA などの提言により、大分県テニス協会においても新型コロナウイルス感染症の対策を大幅に変更することになりました。**2023 年 5 月 8 日をもって、現行の「選手および観客・応援者のための大分県テニス協会主催大会の開催に向けた感染拡大予防ガイドライン」は運用中止とし、新たに「新型コロナウイルス感染拡大予防大分県テニス協会における感染対策について」をもって大会等の運営を行っていくこととします。**

しかしながら、新型コロナウイルス自体が消滅した訳ではありません。政府では、位置づけ変更後も 三つの「密」の回避、手指消毒や換気の確保、必要時のマスク装着など、引き続きの感染症対策を呼び掛けています。変異株や感染の再拡大による制限の必要性が発生した場合にはガイドラインの再開や新たな感染対策が必要なこともあります。

今後、大会を安全に開催するためには大会に参加される選手だけでなく、会場に来場される応援者、観客の皆さん個人個人の感染対策の意識が必要になります。まだまだ不便をおかけしますが、全ての皆さんの安全安心を守るという趣旨をご理解の上、大会にご参加いただきますようお願いいたします。

令和 5 年 4 月 2 2 日
大分県テニス協会

新型コロナウイルス感染拡大予防 大分県テニス協会における感染対策について

参加選手・来場の応援者の方へのお願い

- (1) 大会会場来場前には検温を実施するなど体調のチェックをお願いします。
 - ① 体調がよくない場合（当日も含め5日間以内に発熱・咳・咽頭痛・鼻汁・下痢などの症状が一つでもある場合）は可能な限り医療機関の受診・検査をお願いします。
 - ② 有症状未検査、現在症状がある方は来場を遠慮いただくようお願いいたします。
 - ③ 陽性となった場合：
 - ・発症後5日かつ症状消失24時間になるまでは来場をお控えください。
（ご来場された場合、参加者の指摘などにより退場を促す場合があります。）
 - ・発症後10日以内は可能な限り来場を控えていただくか、不織布マスク装着するなど、周りの方にはうつさないよう配慮してください。症状が残っている場合も不織布マスクの着用をお願いします。
- (2) マスクの着用は個人の判断に委ねられます。周囲に高齢者など重症化リスクの者がいる場合や、密になる場合などはマスク着用を推奨します。（会場へのマスクの携帯をお願いします。）
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施しましょう。
- (4) 定期的に（特に試合の前後）手洗い、消毒等をするように心がけ、用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共用は避けましょう。
- (5) 会場内での応援は制限しませんが、周囲に高齢者など重症化リスクの者がいる場合や、密になる場合などは、マスク着用や大声を控えてもらうようお願いいたします。
- (6) 会場内で購入したドリンク類、他から持ち込んだ飲食物などのゴミ類（ペットボトルや使用済みマスク等）は必ず全て自分で持ち帰ること。
- (7) 雨天や落雷の危険性がある時は車に退避するなどして通路等の屋根の下での密を避けましょう。
- (8) 安心安全に大会運営を行うために大会主催者が決めたその他の措置などについて、主催者の指示に従ってください。

試合当日～試合の手順等

- (1) 会場に到着したら、本部で受付を行ってください。
- (2) 本部のオーダーオブプレーボードで、自分の試合コート、進行状況を確認する。
- (3) 試合待機中はできるだけ密を避け、試合前エントリー番号の若い選手はボールを受け取っておく。
- (4) 前の試合が終了したら、選手が完全にコートから退出した後に入場する。
試合が終了した選手は、速やかにコートから退出する。
- (5) 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行う。
（試合後の握手はせずに挨拶のみとする）

- (6) 試合中、ポイント取得の際などに大声を発することはしない。また、ダブルスでは、インプレー中以外はペアとの距離を保ち、至近距離の会話、ハイタッチ、握手は避けること。
- (7) エンドチェンジの際は選手がそれぞれネットの別々のサイドから右回りに移動し、スコアボードについては自分のスコアのみ変える。
- (8) 勝者がボールを返却し密を避けながら結果の報告をする。
- (9) 試合終了後は必ず手洗い・消毒等をする。
- (10) 感染予防対策のため、表彰式については省略した形で行います。
- (11) 感染拡大対策のため上記（下記注意事項も含む）ルールの順守をお願いします。

その他選手注意事項

- (1) ラケットや自らの試合で使用するボールなどプレイに必要なもの以外にはコートサーフェスも含めできるだけ手で触れないこと。
- (2) タオルの共用はしないこと。タオルは手が触れる面と顔に触れる面を使い分けること。
- (3) ラケット・水筒をはじめとする用具をパートナーや対戦相手と共有しないこと。
- (4) 咳・くしゃみの際は腕で口を覆うこと。
- (5) 唾や痰をはくことは行わないこと（ティッシュなどに吐き各自で持って帰る）。

その他

- (1) 大会終了後、万が一5日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して報告して下さい。また、大分県、医療関係等へ個人情報を提供する場合があることをご了解下さい
- (2) 感染拡大防止期間の特別処置として、大会が中止された場合につきましては参加料を返金いたします。
- (3) 本感染対策の各項目の適用については、感染状況により大会ごとに判断し弾力的に運用します。

令和5年5月8日施行